

「はやぶさ2」12月6日帰還

りゅうぐうのかけら、投下へ

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は14日、小惑星りゅうぐうから飛行中の探査機「はやぶさ2」が、12月6日未明に地球へ帰還すると発表した。小惑星りゅうぐうで採取した岩石試



探査機はやぶさ2が地球に帰還し、回収カプセルを放出する様子のイメージ (JAXA提供)

料が入ったカプセルを、月よりも地球に近い場所へ放出し、オーストラリア南部の砂漠に落下させる。回収したカプセルは数日中に日本へ持ち帰る。

計画責任者の津田雄一・JAXA教授は「長い旅の終着点が見えてきた。りゅうぐうのかけらをお見せできる日が迎えられることを願っている」とした。

はやぶさ2は2014年12月に地球を出発。19年2月と7月、りゅうぐうへの

着陸を果たし岩石試料を採取した。

神戸新聞 7月15日分

初代はやぶさは、途中交信が断絶え、
最後までに費した費用等で散々叩かれました。
が研究者達の熱意が、科学的根拠を
持つて地球帰還への道を切り開きました。

記事では12月6日帰還とありますが、今回の成果
のみを地球へ切り放し、再びそのまま宇宙の旅。
さらなる研究に進むようです。

延べ何年にわたる苦難のうえでのこの上ない喜び。
人生とはそんなものです。